

RAVENNA ASIO Quick Setup

1. コンピュータの標準ネットワークアダプタのRAVENNAデバイス/ネットワークスイッチからイーサネットケーブルを差し込みます。
(RAVENNAネットワークは他のネットワークタイプと混在させるべきではありません。別途LANアダプタを使用することをお勧めします)
MassCore NIC (NET-MSC-GBEX1) はASIOドライバとは互換性がありません。MassCoreとのみ互換性があります。
2. RAVENNAネットワークに従ってアダプタのIPアドレスを設定します。
3. RAVENNAネットワーク専用のネットワークアダプタを使用する場合は、アダプタ設定の最適化方法をご覧ください。
4. Merging RAVENNA ASIOパネルに移動します。

Merging/Ravenna ASIO Settings

Local Adapter: Intel(R) Gigabit CT Desktop Adapter (169.254.228.154)

Buffer size: 128 [smp] @ 44.1kHz/48kHz

Latency: ☐ 48 (AES67) note: set Horus/Hapi's latency accordingly
☒ 64

Number of Channels

	44.1/48k	88.2/96k	176.4/192k	352.8/384k/DSD
Inputs: 64	64	32	16	8
Outputs: 64	64	32	16	8

Status

Sample Rate: 44.1kHz

State: no ASIO Host connected

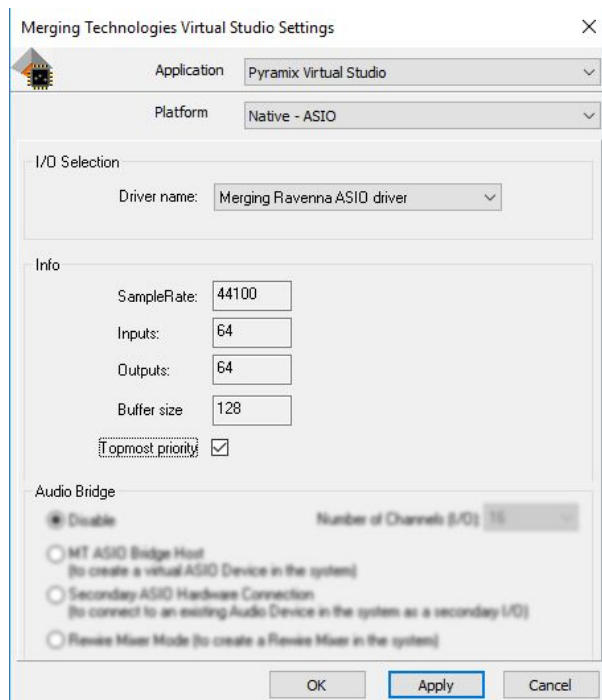
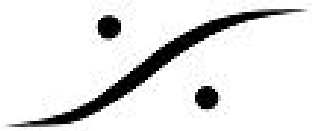
Apply

RAVENNA用のネットワークアダプタを選択します - そのIPアドレスが表示されます。

- a. : このパネルが開いている間にIPアドレスを変更しても、UIには直接反映されません。このパネルを待つか閉じるか、もう一度開く必要があります。
- b. : ASIOバッファサイズを設定します。256サンプルは通常、利用可能なすべてのサンプリングレートに対して安定した値です。
- c. : ネットワークの待ち時間、RAVENNAの場合は64サンプル、AES67の場合は48サンプル (AES67との互換性のためにV11以上が必要) を選択します。
- d. : 必要な入出力数を設定してください。すべてのASIOチャンネルは、RAVENNA機器に接続されていなくてもある程度の帯域幅を使用します (8つだけが必要な場合は128入力を設定しないでください)。

入力と出力の数はサンプリングレートに依存します。

5. VS3のコントロールパネルを開き、プラットフォーム: ネイティブASIO / ドライバ名: Merging Ravenna ASIO driverを選択します。
パフォーマンスを向上させるには、[最優先]チェックボックスをオンにすることをお勧めします。



6. [OK]をクリックしてVS3コントロールパネルを閉じます

7. Pyramix / Ovationを起動してください。

問題がある場合は、RAVENNA ASIOトラブルシューティングページを参照してください。